

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 5セメスター 水・1,2	成人急性期看護方法論	柏倉 栄子 根本 良子	必修	2
授業題目	手術療法および集中治療を受ける成人期にある患者・家族の看護方法			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>概要</p> <p>手術療法および重症集中治療を受ける患者やその家族に対し、看護者と患者の人間関係を基盤に問題解決の系統的アプローチを適用して、侵襲に伴う変化に合わせて適切な看護が行えるために必要な知識および状況に応じた援助方法について学びます。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手術療法および集中治療が患者や家族に与える影響や看護の役割を理解する。 2. 問題解決のために必要な系統的アプローチについて理解する。 3. 成人急性期の状況に応じた看護方法について理解を深める。 				
授業計画				
<p>第1回 ガイダンス - 外科看護の特徴と課題 -</p> <p>第2回 周手術期の看護</p> <p>第3回 手術前患者の看護</p> <p>第4回 手術中患者の看護</p> <p>第5回 手術後患者の看護</p> <p>第6回 集中治療を受ける患者の看護</p> <p>第7回 肺および胸部に問題がある患者の看護</p> <p>第8回 心臓および脈管系に問題がある患者の看護</p> <p>第9回 消化器および腹部に問題がある患者の看護</p> <p>第10回 運動機能障害のある患者の看護</p> <p>第11回 脳・神経疾患に問題がある患者の看護</p> <p>第12回 救急看護</p> <p>第13回 看護過程の展開</p> <p>第14回 看護過程の展開</p> <p>第15回 試験</p>				
成績評価の方法及び基準				
出席状況，レポート，期末試験を加味して総合的に評価します。				
教科書・参考書				
<p>教科書：「系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論」(医学書院)</p> <p>「系統看護学講座 別巻2 臨床外科看護各論」(医学書院)</p> <p>参考書：「周手術期看護1 外来/病棟における術前看護」(医歯薬出版株式会社)</p> <p>「周手術期看護2 術中/術後の生体反応と急性期看護」(医歯薬出版株式会社)</p>				